



安心して暮らせる
世の中に

● 宮崎 浩則

国労東日本本部 執行副委員長



【1. 最近の出来事】

7月に開催された第86回定期全国大会で、中央執行委員となったことにより、このコラムへの投稿もこれが最後となる。教宣部長から依頼され、その後何度となく忘れることが続き、顔を見るたびに思い出すも、なかなか仕上げまで行きついてこなかった。今日も顔を見て思い出し、今日中に手を付けないと絶対に次はないとの思いから、慌てての執筆!

【2. 近況の思い】

個人的には今年2人の孫ができ、孫は5人となり身近な親族が増え喜ばしい限りである。一方、大切な仲間(先輩)たちは年々減ってきているのが現状だ。世の常とはいえ、さびしい限りである。

【3. 今年も親族バーベキューを開催】

今年も8月11日に、毎年恒例の親族バーベキューを開催した。私が中学生のころに父が呼び掛け、九州から東京方面に出てきている親戚が集まり川原でこじんまりと(最初は3家族10人程度で)始めたのが最初である。それから毎年続け、40年以上続いている親族バーベキュー。5年ほど前には名古屋からおじさん夫婦が、バーベ

キューへの参加のためだけにやってきた。

毎年誰かしら出席できなくなるものの、毎年新たな人が参加し、例年25人~30人弱。そしてここ数年は、毎年新たな子供(新生児・幼児)が参加している。今年生まれた我が家の孫2人もその一人だ。そして今年は、九州から甥っ子が来年の就職に向けた企業見学に出てきたのとちょうど日程が合い、友達とともに参加してくれた。

10年ほど前から各家庭の長男・長女で実行委員会をつくり、毎年5~6月に集まり日程と準備の分担を決める。おじさんをお願いしていた場所取りは、前夜祭の開催で前日からテントを張り寝泊まりするようになった。

【4. 子供たちを見て思うこと】

最近の世の中を見ていると、いつ戦争が起きてもおかしくない気がしてくる。

今年の8月は雨続きで、太陽がなかなか顔を出さない。バーベキュー当日も曇り空で、子供たちが勢いよく川に飛び込むという雰囲気ではなかったが、水辺で楽しむ子供たちを見ていると、安心して暮らせる世の中にしていかなければと、改めてつくづく感じた一日でもあった。